

港とくらす、港とあそぶ。

ミナトト



vol.04
Spring 2016

特集

受け継がれる
和菓子



MINATO TSURUGA

TAKE FREE

特集

受け継がれる 和菓子



北陸の総鎮守「氣比神宮」のお膝元、
神楽通り周辺には、長らく地元敦賀の
人々に愛され続ける老舗和菓子店が数
多く点在しています。長い歴史に培われ
てきた伝統の技術で受け継がれる銘菓
を食へ歩いてみませんか。



港と暮らす、港と遊ぶ。

古くから日本海有数の港町として栄えた敦賀。江戸時代には北前船の寄港地として北海道で採れた昆布などの海産物を都に運ぶ拠点として発展し、その後はロシア・ヨーロッパへと渡る欧亜国際列車の発着場として重要な役割を果たしました。戦争で大きな傷跡を残しましたが、港には石油貯蔵庫だった赤レンガ倉庫をはじめとした古い倉庫群など、昔の面影を残す建物が点在しています。港は、敦賀の人にとって大切な想いが込められた特別な場所なのです。



ミナトト 春号

contents

- 02 特集
受け継がれる 和菓子
- 07 Gourmet
まちなかぐるめ
- 09 Pick up
紙わらべ資料館
- 11 Area Guide
イラストマップで巡る つるがまち歩き
- 13 Guide
まちなかガイド
- 14 Map
つるがまちなかマップ

天清酒万寿店



敦賀の伝統銘菓「天清の酒万寿」

天保年間の創業以来180有余年続く老舗の酒まんじゅう店。年の祝い(厄払い)や入学祝いに引き出物、法要など、敦賀ではこの天清の酒まんじゅうを使う人は多い。

天清の酒まんじゅうは、酒粕を使わずに自家仕込みの酒種を使った製法で作られていて、一晩

寝かせて発酵させたりして通常より手間がかかります。最盛期には一日千個にもなる酒まんじゅうを一家総出で作っていたそうです。

毎月第三日曜にある「晴明の朝市」では、通常のもの以外にきなこ、黒ごま、ピーナツ、シナモンなど、新しい味やミニサイズの酒まんじゅうを販売して、新たな客層の獲得にチャレンジしています。



自家仕込みの酒種が味の決め手。



七代目となる西島淳さん(47才)は、後継のいなかった母親の実家である天清に迎え入れられ、奥さんの由佳さんと一緒に伝統の製法を受け継いでいます。



蒸し上げる前にホイロと呼ばれる加熱器に入れ温められます。



敦賀市神楽町1丁目4-9
TEL.0770-22-0296
営業時間/9:00~18:00
定休日/不定休

御菓子処 あさみ



春のお菓子のひとつ、あさみでは「あみ笠」という商品名がつく「草もち」。厳選した米粉を蒸して香りの良いよもぎを混ぜわせ、ひとつづつ手作りしています。

四季折々の素材でつくる、こだわりの手作り和菓子

創業明治23年の老舗和菓子店「御菓子処あさみ」は、「美味しいお菓子は、美味しい素材から」を信念に、あんこは高級な北海道産小豆のみを原材料とし、米粉は福井県産のコシヒカリを、餅粉は新潟県産のみを使用。丹精込めて、ひとつひとつ丁寧に「手作り」にこだわっています。

五代目の浅海和さんは、高校卒業後に家業を継いで23年。伝統の味と製法を守り続けながら、時代のニーズに合わせて甘さなどを調整しています。



四季折々の素材を使用して手作りされるあさみの和菓子ですが、とくに春は彩りも鮮やかでケースの中がひととき華やかになるそうです。



「あみ笠」と呼ばれる元になったその形は、かしわもちと同じ、かしわ手の要領で包み込むように作ります。



幼い頃から食べ物を作るのが好きで、小学生の時にはお菓子づくりを手伝っていたそう。



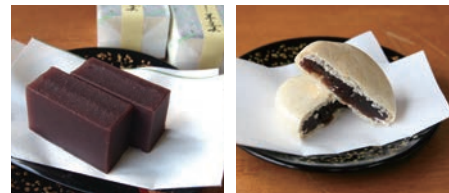
敦賀市神楽町2丁目6-21
TEL.0770-22-0289
営業時間/8:30~18:00
定休日/火曜日

御菓子司
浅海分店



敦賀の夏の名物「水仙まんじゅう」

創業80有余年、庶民のお菓子だった「水仙まんじゅう」を和菓子店として早くから広め、敦賀名物になるようすすめました。以来、葛のとりりとした食感と甘さ控えめなこし餡の絶妙な味わいは、敦賀の夏には欠かせない名物菓子となりました。その他にも「蒸し羊羹」や「竹皮羊かん」など時代に合わせた手作りのお菓子が並びます。



御菓子司 浅海分店
敦賀市神楽町2丁目6-8
TEL.0770-22-0790
営業時間/8:30~19:00
定休日/水曜



長命水にあやかった「長命水ようかん」

昭和6年創業。氣比神宮のお膝元神楽通りに店を構え、長年に渡り地元敦賀の人々に愛されている森本。店内には三代目店主が伝統に基づく確かな技術で丁寧に作り上げた御菓子が所狭しと並びます。森本といえば、氣比神宮境内に湧き出る長命水にあやかった「長命水ようかん」が有名。まろやかな舌触りと喉越しの良さがくせになる懐かしい故郷の味です。

御菓子司 森本



御菓子司 森本
敦賀市神楽町1-2-23
TEL.0770-22-0329
営業時間/7:00~18:00
定休日/年中無休



敦賀名産最高級天然昆布の銘菓
「求肥昆布」

寛政5年(1793年)昆布問屋として創業。明治4年に四代目店主が「地の利を生かした菓子」と昆布を原料にした菓子を考案。これが紅屋の代表銘菓「求肥昆布」です。材料は厳選した最高級の昆布と餅米と砂糖だけ。□当たりが柔らかく、優しい甘さと天然昆布の香り豊かな味わいは日本全国で広く愛されているお菓子です。



越前敦賀銘菓処 紅屋



越前敦賀銘菓処 紅屋
敦賀市相生町6-11
TEL.0770-22-0361
営業時間/9:00~19:30
定休日/第3水曜日、不定休



小堀菓舗



名称氣比の松原の松葉を模った
「氣比の松葉焼」

明治34年「小堀日之出堂」として創業。創業当時からある「氣比の松葉焼」は、敦賀の景勝地である日本三十大松原の「氣比の松原」の松葉を模った胡麻の風味漂う手焼き煎餅。和菓子はもちろん、大正時代には嶺南で一番早く洋菓子を作り始めカフェも開きました。四代目店主は、伝統を守りながらも常に新しい発想で商品開発に挑戦しています。



小堀菓舗
敦賀市神楽町1丁目2-34
TEL.0770-21-0141
営業時間/9:00~19:00
定休日/水曜日



敦賀のまちなかには喫茶店がたくさんあります。30年以上前に開店した老舗も多数。敦賀に暮らす人、旅する人、仕事で訪れた人が、集い、ふれあい、休息のひとつきを豊かにしてくれる喫茶店。香り高いコーヒーとおすすめメニューを楽しんで。



まちなか
ぐるめ

Gourmet



喫茶店の基本型 ナポリタン

オリジナルメニューにファンも多い喫茶ゆのくにの、創業以来変わらないナポリタン。たまねぎ、ピーマン、ハムを茹でた麺とケチャップで炒め、彩り鮮やかにグリーンピースを乗せた基本型。もちっと柔らかく茹でられた麺がやさしい味わい。



ゆのくに
敦賀市本町1丁目7-27
TEL.0770-22-2375
☎ 10:00～翌3:00(日のみ20:00まで)
🌿 年中無休

改札から徒歩10秒 ここだけのスパゲッティ

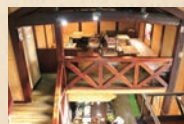
敦賀駅を利用する地元客、ビジネスマンのお腹を満たして36年。パインのスパゲッティは細麺と太麺の2種類のパスタ麺を使うのが美味しさの秘密。ソースとよく絡み、食感も食べ応えのあるものに。



喫茶パイン
敦賀市白銀町1-15
TEL.0770-24-0958
☎ 8:00～22:00
🌿 月曜定休

音楽でつながる 路地裏の喫茶店

音楽好きなお客さんが集い、店主を通してお客さん同士のふれあいがある懐かしい喫茶店。2015年12月、4代目の店主を迎えて再びオープンしました。おすすめは香り高いコーヒーとおふくろのカレー。



喫茶ぶらめらん
敦賀市神楽町2丁目6-15
TEL.0770-25-6931
☎ 9:00～19:00
🌿 不定休

いまだ「未完成」な 画廊喫茶

レコードのあたたかい音が流れる店内には月替わりで県内外の作家作品が飾られます。昭和41年に開店した当時は福井初め画廊喫茶だったそう。ゆったりと、一杯ずつ淹れられるコーヒーも楽しんで。



画廊喫茶 未完成
敦賀市本町2丁目7-7
TEL.0770-22-2703
☎ 11:00～18:00
🌿 毎月3日・13日・23日定休

ライブやパーティーも おまかせ!

ドラム、ピアノ、ギターなど音響設備のそろった喫茶店。レンタルスペースも可能な店内を“マイステージ”にして気持ちよく演奏してみたい。おすすめは飛騨牛の焼き肉をトッピングしたカレー。



カフェ&パブ ダイハード
敦賀市元町18-32
TEL.0770-36-4427
☎ (火～日) 10:00～16:00
(木～土) 10:00～16:00 / 18:00～24:00
🌿 月曜定休

コーヒー屋さんの カツサンド

一杯ずつドリップで淹れるこだわりのコーヒーが自慢の喫茶店。人気のカツサンドは自家製タルタルソースを塗った食パンに、さくっと歯切れ良いヒレ肉とたっぷりの野菜をサンド。ボリューム満点だが、あっさり食べられます。



カフェ・シ・テール
敦賀市白銀町10-8
TEL.0770-25-7473
☎ 9:30～21:00
🌿 月曜定休



敦賀市相生町13-14
TEL.0770-37-1150
4月～10月 10:00～17:00
11月～3月 10:00～16:00
入館料/大人(個人)…200円
大人(団体:20名以上)…150円
小人(小学生以下)…無料
休館/月曜・火曜(祝日の場合は開館)

作品の創作者である高木栄子さんは、大正11年生まれで敦賀市を拠点に創作活動を行っています。NHK文化センター講師をはじめ、「婦人百科」「おしゃれ工房」などの番組にも多数出演。また、「松屋銀座」や「京都大丸」など全国の有名百貨店でも展示会を開催するなど、全国的に知られています。

高木さんの作る人形たちには目鼻がありません。「喜怒哀楽は、人形の体の動きで表現することで、ごらんいただく皆様の心に、豊かで生き生きとした情感が見えてくる。」と高木さんは語ります。

日本の原風景を思い起こさせ、見る人の心を懐かしさと優しさで癒してくれる作品が「紙わらべ資料館」で待っています。



紙わらべ資料館

情緒あふれる紙わらべの世界
昔懐かしい伝承遊びの風景や、四季折々の風物詩、語り継がれてきた昔話を生き生きとした情景で表現

作品が並ぶ「創作和紙人形紙わらべ資料館」は、敦賀市の町家再生事業のひとつとして、歴史的な町家の面影を残している博物館通りに面する民家の一部を改修し、平成17年に開館しました。博物館通りは平成24年度から始まった「博物館通り賑わい創出プロジェクト」によって、通りが石畳化され、新たに改修した町家に3軒のお店がオープン。通りのランドマークである旧大和田銀行だった歴史的建物の「敦賀市立博物館」もリニューアルオープンして注目の観光スポットになりました。



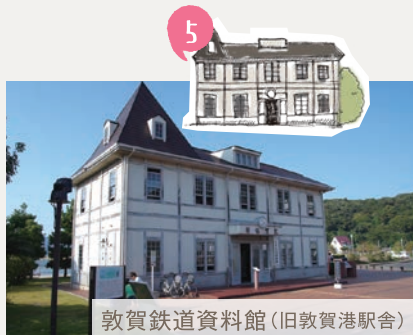
ポートデッキ

緑地公園の海沿いに作られたボードウォークは市民の散歩コース。中心から海にせり出すポートデッキからは敦賀港を一望することができます。



人道の港 敦賀ムゼウム

1920年にポーランド孤児、1940年には杉原千畝が発給した「命のビザ」を握りしめたユダヤ人難民が、敦賀港に上陸したことに関連する資料が展示されています。



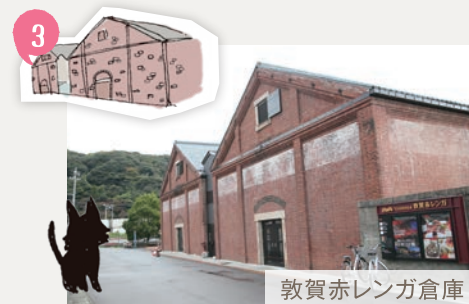
敦賀鉄道資料館(旧敦賀港駅舎)

欧亜国際連絡列車の発着駅として重要な位置を占めていた敦賀港駅舎を再現。港と鉄道の街として発展した貴重な資料や鉄道模型を展示しています。



泉(しみず)のおしょうず

戦国時代に農民達に発見されて以来、生活を支える水場として600年以上沸き続ける名水です。



敦賀赤レンガ倉庫

県内でも有数のレンガ建築物で、国の登録有形文化財に登録されている港町敦賀を象徴する建物です。現在は港のジオラマやレストランを備えた施設になりました。

イラストマップで巡る つるがまち歩き 金ヶ崎周辺

昔の面影が残るレンガ倉庫や港駅舎があった金ヶ崎周辺をイラストマップ片手に歩いてみよう。

つるが港エリアお散歩マップ
観光案内所や各施設で入手可能。
お問合せは港都つるが(0770-20-0015)まで。



金崎宮

敦賀港を望む高台に建つ神社。境内は桜の名所として知られ、花換まつりは多くの人で賑わいます。また、恋愛成就の恋の宮として人気で、良縁を願う若者が多く訪れます。背後には中世の山城「金ヶ崎城」があり、数々の戦乱の舞台になっています。



松尾芭蕉の碑

南北朝時代、金ヶ崎で足利軍との戦いに敗れた新田義顕のことを宿の主人から聞いて詠んだ句が刻まれています。江戸後期に建立された古い句碑です。「月いつこ鐘は沈るうみのそこ」



つるがまちなか
マップ

ミナトト vol.04 2016年3月発行

発行/港都つるが株式会社
編集・制作/東雲デザイン

港都つるが株式会社

港都つるが株式会社は、福井県敦賀市の中心市街地の活性化を目的に、行政や市民、事業者が一体となって「まちづくり」をすすめるために、平成14年に設立された民間の会社です。敦賀の特色である海や港を生かした「港都つるが」を象徴するまちづくりを目指し、古い町並みを蘇らせた町家再生事業や、クラフトマーケットなどのイベント事業などを手がけています。フリーマガジン「ミナトト」は、中心市街地の情報発信ツールとして、まちなかの魅力を市内外に広くアピールすることを目的に発行しています。

〒914-0063敦賀市神楽町2丁目1番4号 敦賀商工会館3階 TEL.0770-20-0015 www.tmo-tsuruga.com

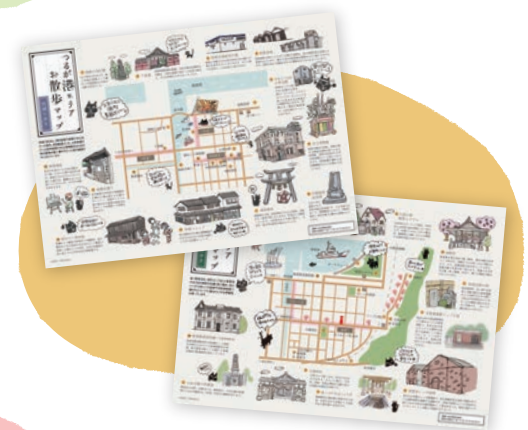


紙わらべ資料館
パンフレット

日本の原風景を思い起こさせ、見る人の心を懐かしさで癒してくれる紙わらべの世界。博物館通りに面する民家を改修した資料館のパンフレットです。

つるが港エリア
お散歩マップ

新しくオープンした赤レンガ倉庫のある金ヶ崎周辺とリニューアルした博物館のある舟溜りを楽しい手描きイラストで案内するマップ。港町情緒を満喫しながら注目の二つのエリアをお散歩してみませんか。



博物館通り
オフィシャルサイト

<http://www.t-museum-st.info>

まち並みが再生された敦賀博物館通りのポータルサイト。博物館通りや町家ショップの紹介をはじめ、毎月開催される清明の朝市やリニューアルオープンした博物館(旧大和田銀行)の情報などを随時フェイスブックなどとリンクしながら発信しています。